

【管理運営状況公表様式】

令和7年度 青森県立自然ふれあいセンターの管理運営状況

県所管課	環境エネルギー部自然保護課
指定管理者	青森森林組合連合会 代表者理事会長 蛭沢 正勝
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
県民の森利用指導事業	・広く県民に対して自然にふれあう機会を提供し、自然保護思想の普及を図るため、日曜観察会をはじめとする各種行事や自然をテーマとした研究会・写真展等を開催した。
情報発信事業	・広報誌、ホームページ等を活用し、センターの事業や県民の森に関する情報を発信した。
施設の維持・運営管理に関する業務	・センターを快適に利用してもらうため、センターの清掃や除雪、各種設備の保守管理等を実施した。
県民の森の維持管理に関する業務	・県民の森を安全・快適に利用してもらうため、登山道や関連施設の点検や整備、清掃等を実施した。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
入館者数	R4	30,000	22,879	76.3%	100.0%
	R5	30,000	23,446	78.2%	102.5%
	R6	10,000	7,861	78.6%	33.5%
	R7	10,000	7,307	73.1%	93.0%
行事参加者数	R4	1,700	1,332	78.4%	126.3%
	R5	1,700	1,183	69.6%	126.3%
	R6	1,700	1,128	66.4%	88.8%
	R6	1,700	1,128	66.4%	95.4%
	R7	1,700	1,493	87.8%	132.4%

【増減理由】

令和7年度は前年と比べ入館者数は微減したが、行事参加者数は微増している。最近の熊の出没により減っていると思われるが、構内に出没情報を表示し周知するとともに、草刈りにより安全管理に努めている。行事については、スタンプラリーのクイズで館内の展示物の設問により入館させる工夫をしている。

3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	業務水準書で定める開館時間及び職員の配置を確保しているほか、来館者及び行事参加者を対象としてアンケート調査を実施しており、調査結果を運営に反映させるなどサービスの向上に努めている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	業務水準書に定める内容に加え、周辺の公共施設等を活用した行事PRを行うなど、利用促進に努めている。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	業務水準書で定める内容の維持管理を実施しており、利用者からの苦情はない。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	緊急時連絡体制が整備されており、年2回の消防訓練を適切に行っている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	3	適正に執行されている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	3	3	県民に対し自然体験活動の啓発を効果的に行っている。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	個人情報取扱特記事項及び各種労働法規を遵守しているほか、有給休暇についても各職員が取得できるよう配慮している。
総合評価	3	3	①～⑦を総合的に勘案し、令和7年度の指定管理事業に係る総合評価を3とする。

○評価基準

- 5（秀）：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている。
- 4（優）：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている。
- 3（良）：業務水準書等の内容が満たされている。
- 2（可）：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する。
- 1（不可）：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する。